

常願寺川に関する補足説明資料

平成 17 年 9 月 26 日
国土交通省 河川局

堤防と護岸の整備状況

常願寺川の河道の状況

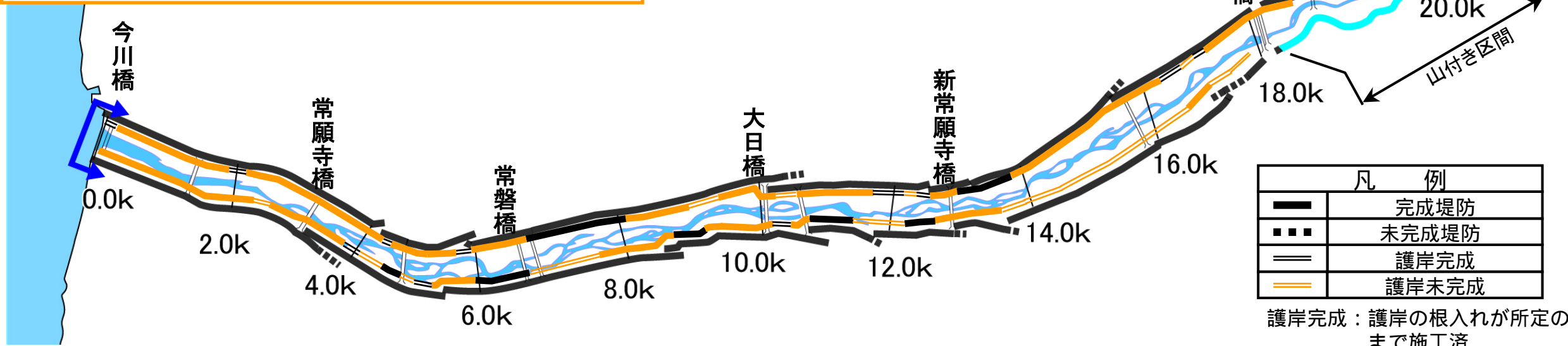
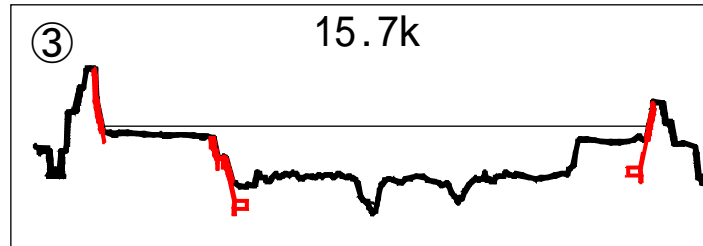
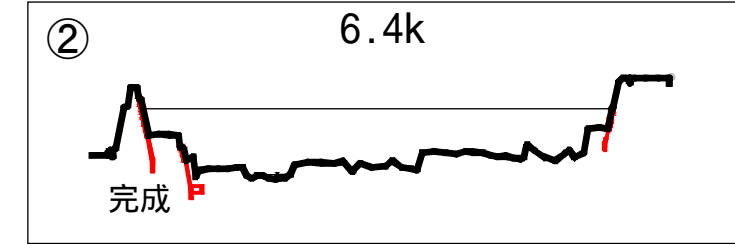
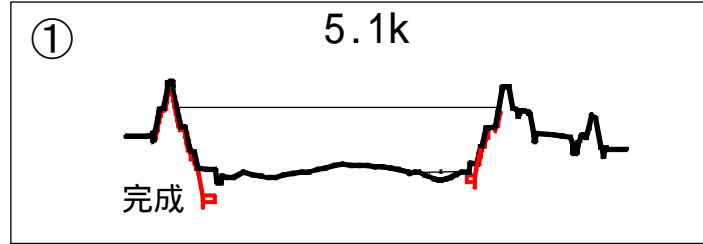
河道の状況としては、概ね以下に分類可能

単断面区間

複断面化しているものの高水敷が不明瞭な区間

低水路と高水敷の境界が明瞭な区間

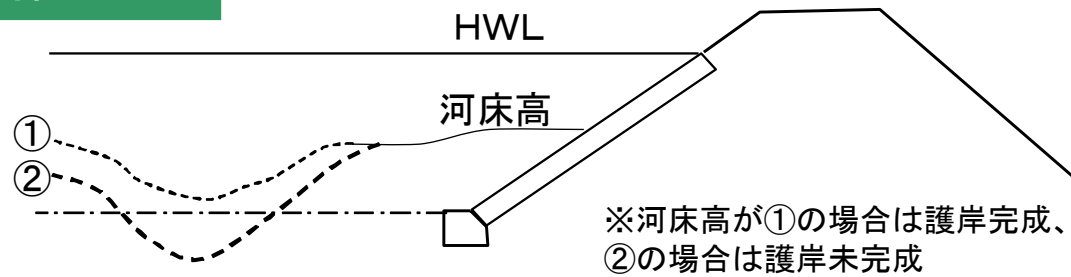
代表断面



凡 例	
	完成堤防
	未完成堤防
	護岸完成
	護岸未完成

護岸完成：護岸の根入れが所定の高さまで施工済

整備状況

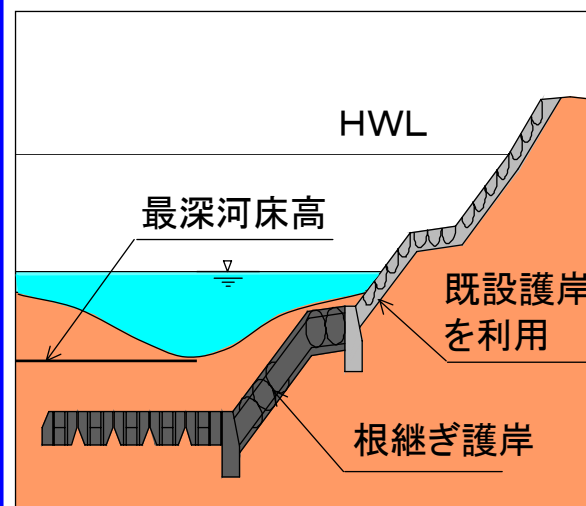


	要整備延長 (km)	完成延長 (km)	未完成延長 (km)	整備率 (%)
堤 体	44.5	41.6	2.9	93.5
護 岸	36.6*	7.1	29.5	19.4

注) 霞堤については、護岸延長に含めない
平成13年断面による評価結果

根継護岸工

根継ぎ護岸工横断面図



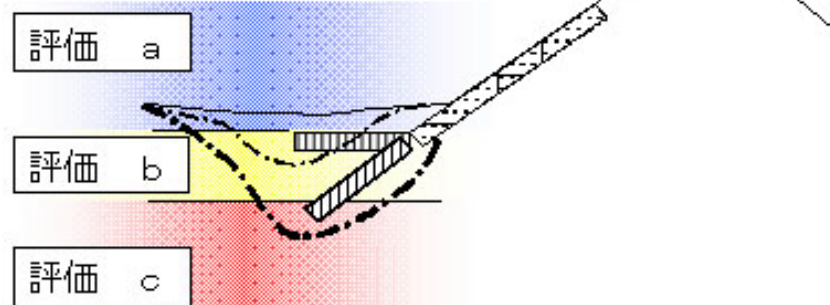
根継ぎ護岸工実施状況



急流河川における堤防の安全度評価

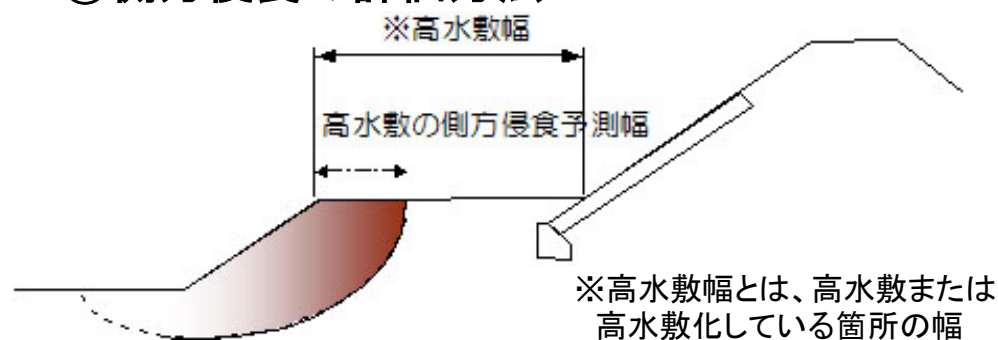
・洗掘（護岸基礎高）と側方侵食（高水敷幅）を勘案して堤防の安全度を評価

①洗掘深の評価方法



洗掘予測河床高の状態	評価
護岸基礎高より洗掘予測河床高が高い	a
護岸基礎高より洗掘すると予測されるが根固めの変動で対処可能	b
護岸基礎高より洗掘すると予想され、根固めの変動でも対処不可能	c
護岸がない場合	c

②側方侵食の評価方法



評価	内容
a	高水敷幅が側方侵食予測幅より大
b	側方侵食予測幅が現有幅以上、2倍以下
c	側方侵食幅が現有幅の2倍以上

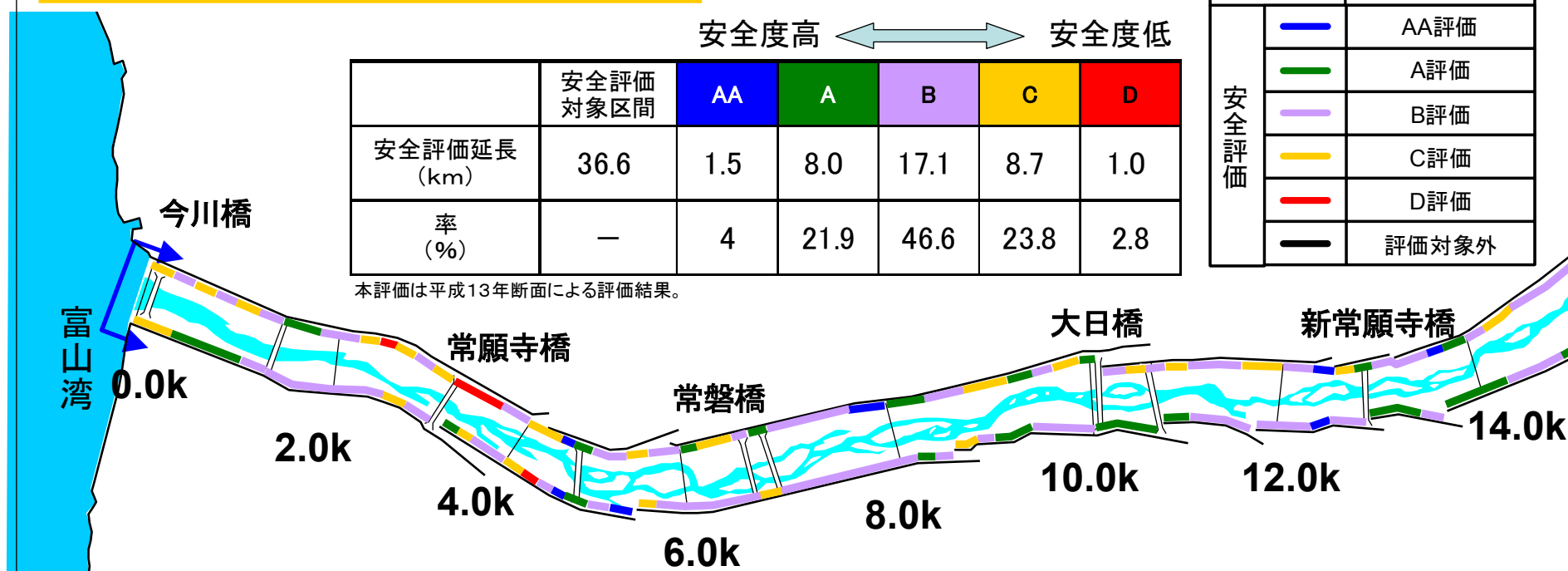
注) 低水護岸がある場合はワンランクアップ

③洗掘・側方侵食に対する安全評価

- ・河道特性に応じて区間を細分化し評価
- ・区間毎に洗掘深の評価と側方侵食の評価を組み合わせ、堤防の安全度を評価

安全度評価		側方侵食(高水敷評価)		
		a	b	c
		← 高い 低い →		
洗掘(護岸基礎高評価)	a	AA	A	B
	b	A	B	C
	c	B	C	D

常願寺川における評価結果



凡 例	
—	堤防
—	AA評価
—	A評価
—	B評価
—	C評価
—	D評価
—	評価対象外

○堤防の安全度評価による優先順位(D→AA)と災害ポテンシャル(左岸及び扇頂部が高)を踏まえ、対策を実施

○対策は、特に侵食対策に効果があり、被災の早期発見・監視機能等を併せ持つ前腹付け工を中心を実施

○H16より扇頂部において前腹付け工に着手、またH17よりモニタリングを実施